

羽曳が丘

E
Ecology

&

L
Life発行 NPO法人羽曳が丘E&L
〒583-0865
羽曳野市羽曳が丘西3-4-51
羽曳が丘第2集会所
Tel Fax 072-958-6716

NEWS LETTER

2007年7月

(広報紙みどり～通巻第18号)

複数事業の実践

第3回 定時総会開催

地域ニーズに対応する複数事業が前進

運営収支の循環

去る、5月7日MOMOプラザにて第3回定時総会を開催しました。当日は72名が出席し、総会は岡橋理事長の挨拶から始まり、18年度の事業報告と決算報告が承認され、19年度の事業計画と収支予算を報告しました。

18年度は¥8,971,000の事業予算でスタートしましたが、つどいの広場事業が認可されなかったことから減収となり、事業収入は¥6,984,814となりました。18年度の事業成果はビオトープ・惣菜の宅配・交流サロン・アルミ缶回収・集会所業務管理などの複数事業を継続していることでした。つまり、私たちの活動は地域ニーズに対応する複数事業を実践して運営収支を循環しています。今後も地域の皆様のご支援とご協力をお願いします。

18年度の事業報告

各部の事業は着実に前進

「環境部」はビオトープ事業・アルミ缶回収事業を実施し、アルミ缶回収事業では量・金額とも増加しました。

「生活部」では高齢者の見守りを視点とする惣菜の宅配事業と高齢者交流サロン事業は年々拡がりつつあり、地域ニーズに沿った事業として地域住民から評価されています。

「管理部」では集会所の業務管理・標準葬儀・広報紙などの印刷事業と各種の調査研究を実施しました。

本年の前進した事業はビオトープフェスタでした。地域の多くの方々が無事参加し、晴天に恵まれたこともあって、1200人の参加者となりました。身近な自然環境であるゆる世代の人たちが楽しく交流しています。ビオトープのある羽曳が丘が、市民に定着してきた結果であり、ビオトープがまちづくりの拠点になりつつあります。



岡橋理事長の開会の挨拶

総会会場
総会後の交流会

19年度の事業計画

ビオトープで自然教室を

19年度は大阪ガスグループと、ニッセイ財団からの助成金事業に選定され、ビオトープに、ウッドデッキ・芝生広場などを整備しました。また、羽曳が丘小学校で液晶プロジェクターによる自然教室を実施して好評でした。今後、これらの、園・小・中・など子どもたち対象の新しいプログラムを展開して地域から信頼されることをめざします。

とが、羽曳が丘地域の課題解決の近道と考えております。

また、昨年度から「羽曳が丘標準葬儀」の簡素化を考えて、50万円・75万円・100万円の3段階仕様を新たに設定して多くの方々に喜ばれております。

今年度も皆様より一層のご支援をお願い申し上げます。(岡橋理事長)

地域課題の事業調査も

一方、最近全国各地で地域課題をテーマにした、コミュニティビジネス(CB)が始まっています。大阪NPOセンター・大阪商工会議所からはCBに関わるまちづくり事業、大阪府総合福祉協会から高齢者コミュニティ・ワーカーズ先導モデル事業への推奨がありました。最近民間企業からの環境課題の助成金事業や、行政からの指定管理者制度の実践が進んでいます。

これらの事業は様々な社会的課題解決のために新たなNPOや社会企業家を支援することにより地域社会の振興や継続的發展をめざすものです。

以上を総括して、今年度は地域社会に貢献する複数事業の継続と、社会的課題解決のための事業調査などに取り組み、羽曳が丘のまちづくりへの道になることをめざします。

前年度事業の具体化

第3回定時総会は皆様のご協力により、無事終わることができました。心より厚く御礼申し上げます。事業報告・決算報告をご覧になればおわかりの通り、概ね順調に推移しております。19年度は前年度事業を具体的なかたちに完成させるこ